

戦争の悲惨さを知り 明日の平和を考える

世界にはまだ1万を超える核兵器が存在し、地域紛争も続いており、多くの人が苦しんでいます。

唯一の被爆国である日本は、原爆そして戦争の悲惨さを世界に伝えていかななくてはなりません。戦争の現実を知り、戦争を繰り返さず、子どもたちのために、未来の平和のために私たちができることを考えていきましょう。

平和・人権・男女共同参画係 / 4階
☎(3228)8229 FAX(3228)8860



1 戦災で荒れ果てた新井町
2 疎開中の鷺宮小学校の児童

平和の尊さを考えるきっかけに、ご覧ください



▲爆心地とドーム(広島)

当日直接会場へ。いずれも最終日は午後4時まで。

平和企画展示 「広島・長崎の原爆記録写真」

8月19日(水)～28日(金)、
中野駅ガード下ギャラリー「夢通り」東側で



▲空襲で焼けた桃園小学校

平和資料特別展示

8月11日(火)～17日(月)の平日午前9時～
午後5時、区役所1階特別集会室で

☆戦争体験者の貴重な証言記録を収めた「中野区平和の語り部映像記録」のDVDも上映

8月15日は、 「戦没者を追悼し平和 を祈念する日」です

先の大戦において亡くなられた方々を追悼し平和を祈念するため、8月15日(土)正午から1分間の黙とうをお願いします。

人・想い・未来

～今こそ、恒久平和の願いを込めて～

区長 酒井直人

8月15日は、戦争で犠牲になられた方々を追悼し、平和を祈念する日です。日本は東京大空襲や沖縄戦、広島・長崎への原爆投下など大惨事を経験しました。中野も度重なる空襲に見舞われ、見渡す限りの焼け野原に。一方で、アジア諸国などに大きな被害をもたらしました。先の大戦で命を失われた全ての方に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

終戦から75年が経過した今、戦争体験者は年々減少しています。一方、世界では紛争やテロが絶え間なく起こっています。戦争の惨禍を二度と繰り返さないために、戦争の悲惨さと平和の尊さを若い人たちに伝えていくことが必要です。

新型コロナウイルス感染症の影響下で、日常や「普通」のありがたさを実感している今は、平和の尊さが若い人たちに届く好機だと思います。家族

や友人と平和について話し合ってみませんか。

区は来月、中野区立総合体育館内に「中野区平和資料展示室」を開設します。感染症の拡大防止に配慮いただきながら、ぜひご覧ください。

私は、国際平和の礎は互いの理解にあると考えています。そのためには、自分の価値観が当たり前ではないこと、宗教や世界観の違いを知ることが欠かせません。新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、防疫のための封鎖策がさまざま講じられていますが、心は閉ざすことなく、互いを理解するための学習に努めていきたいと思えます。

平和条例を制定している中野区は、あらゆる個性を受け入れるまち。国籍や文化の違いを超えて理解・尊重し合える多文化共生社会を実現し、恒久平和の願いを中野から発信していきましょう。

次号予告

笑顔を結ぶ 子ども食堂



なかの区報二次元コード

区内各家庭の郵便受けなどに配布しています
情報活用後は、資源として古紙の集団回収へ